

都 退 教 協 だ よ り

No.327号

2025 年 10 月 15 日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

どうなる年金！年金改革法が成立！

6月13日年金改革法が参議院で可決しました。年金制度の課題と年金改革法で何が決まったのかお知らせします。

年金財政は良くなっている

昨年7月、年金制度の「財政検証」結果が公表されました。財政検証によると、年金の収支及び長期的な財政状況は5年前よりも良くなっています。

その要因は、高齢者、女性の就労が増え、年金加入者が適用拡大により増えたこと、積立金の運用（株など）が好調だったことです。

私たち教職員には、国民年金と厚生年金を支給されています。この年金は、現役の皆さんの保険料と国や地方自治体の保険料で賄われています。同様に私たちが払った保険料は、その時の年金受給者に支給されていました。こ

うした制度を賦課方式（現役世代から高齢世代への仕送り）といいます。ですから、高齢者が多く、現役が少ない少子高齢社会になると持続可能な年金制度にするための改革が必要になります。そこで、10年前に年金の大改革が行われました。

10年前の年金大改革

少子高齢化が急速に進む中に行われた、年金の大改革(2004年)は次のとおりです。

- ① 保険料を引き上げるが、現役世代の負担をこれ以上増やさないために保険料率の上限を18.3%に固定する。
- ② 国民年金（基礎年金）の国庫負担を1/3から1/2に引き上げる。
- ③ 積立金を活用する。
- ④ 賃金や物価の上昇に合わせて改定され

多文化共生のまち新大久保を歩く・秋の交流会・

日 時：2025 年 10 月 22 日(水) 14：00

場 所：東新宿 A 2 出口集合

案 内：深澤裕さん

お申込み・お問い合わせは、谷口まで

電話：090-5202-0117

Mail: extani@gmail.com

※この交流会は、生きがい支援協会の助成を受けて実施されます。

コース：

- ①高麗博物館
- ②大久保小学校
- ③ABC 保育園
- ④大久保通り商店街
- ⑤ロッテガム工場跡地
- ⑥イスラムエリア・ハラル料理屋・モスク
- ⑦ハルコロ（アイヌ料理店で会食）

る年金改定額の上昇分を少しずつ減額するマクロ経済スライド調整の導入。

デフレと低賃金で大誤算

しかし、賃金も物価も上がらないデフレが続き年金も上がらなかったため、マクロ経済スライド調整は10年間発動できませんでした。そのため、2023年終了の見通しが大幅に狂い、特に基礎年金は2957年まで減額（マクロ経済スライド調整）を行わなければならない結果になりました。厚生年金は、賃金の目減りで現役世代に将来支給される年金も目減りするので財政的に来年でマクロ経済スライド調整を終了できますが、基礎年金は減額が長引き3割減になることが試算されました。これを何とかしなければならないのが、年金制度の大きな課題です。

年金加入者増と保険金拠出の延長を求める

私たちは、基礎年金を底上げするために次の事を要求しています。

- ①被用者保険の適用をさらに拡大し(週10時間以上働く人すべてに適用)
- ②保険金の拠出期間を延長する(65歳まで保険金を払う)

つまり、保険料を払う人を増やして年金の財源を安定させるとともに、将来年金を受給する人も増やすことです。

年金改革法で決まったこと

その上で、年金改革法は、以下の内容が決定されました。

① 被用者保険の適用拡大

より多くの人が年金に加入できるようにする。

国民年金（基礎年金）だけでは生活できません。厚生年金の加入期間を長くし、加入する人を増やす必要があります。改革法は5人以上が働く個人事業所を厚生年金適用事業所にしました。

また、短時間労働者も賃金にかかわら

ず年金に加入する。小規模事業所も2027年から6年間で段階的にすべて厚生年金に加入するようにする。

② 在職老齢年金制度の見直し

65歳以上で収入が50万円以上になると年金の一部が支給されなくなる在職老齢年金制度が見直され、収入が62万円までは年金が満額支給されるようになりました。

③ 標準報酬月額の上限の見直し

年金の保険料は収入が高いほど高くなります（標準報酬月額×保険率）。今まで、65万円が上限で、それ以上保険料は上がりませんでした。今回の改革法で75万円に2029年まで段階的に引き上げられます。

④ 遺族年金の見直し

男性を主たる家計の担い手として設計されている年金制度は、共働き世帯が増える中で時代に合わなくなってきました。男女差の解消、子どもの加算と配偶者の加給年金の見直しが行われました。男女問わず60歳未満で死別した場合は5年間の有期給付。60歳以上で死別した場合は、無期給付（現行通り）。

⑤ 将来の基礎年金の給付水準の底上げ

基礎年金の給付水準の底上げが課題になっていますが、マクロ経済スライドについては2029年の財政検証で判断することになりました。その際、厚生年金の給付水準低下の懸念も緩和する法措置を講ずることになっています。

⑥ 第3号被保険者制度

第3号被保険者制度も男性を主たる家計の担い手として設計され、扶養する配偶者を対象にしたものです。将来的に廃止に向けて改革法には「検討規定」が設けられて今後の課題になりました。

第26回共生共走マラソン

と き：10月26日(日)9:30 受付開始 11:00 スタート 15:00 ゴール

ところ：品川区八潮パークタウン多目的広場

「だれもがともに」を合言葉に、障害の有無、民族、国籍、年齢、性別を問わずともに生きる街づくりをめざす交流の場です。出し物、出店もいっぱい、遊びに来てください。



野党の結集で金権腐敗をまず糾せ！自民党高市総裁の危うさ！

少数与党から公明党が離脱して混迷を深めている日本の政治。自民党総裁になった高市早苗は、選択的夫婦別姓には後ろ向き、「奈良の鹿」デマ発言に見られるように外国人に対しては排外的、裏金議員の登用、アベノミクスを継承する積極財政、軍事力強化と改憲など「悪夢のような」安倍政権の継承者であることは明らかです。皆さんに小誌が届くまでにどのような政治状況になっているかも見通せない事態ですが、公明党も含めた野党が連合して少なくとも「政治と金」問題に決着をつけなければなりません。

ウソを振りまくポピュリズム

参議院選挙で国民民主党や参政党は参議院選挙で大躍進しました。「手取りを増やす」

「日本人ファースト」などの耳新しいスローガンが支持を集める一方で、根拠に乏しい誤った情報がSNSなどで拡散し、既成政党への批判もひろがりました。次から次とフェイクを垂れ流されるとファクトチェックが追いつかず、フェイクやヘイトがたれ流されます。この手法は、ヨーロッパ諸国やアメリカを席卷するポピュリズムによる排外主義ととてもよく似ています。参議院議員選挙でも、外国人の問題が争点とされ、外国人が優遇されているとの主張や日本社会では外国人より日本人が優先されるべきとの主張は、入管庁の「不法滞在者ゼロプラン」となって子どもも含む強制送還が続出しています。また、在日韓国・朝鮮人、クルド人への差別も激化しています。

憲法否定の参政党

参政党の「新日本憲法」(構想案)の第1条は「日本は、天皇のしらす君民一体の国家である」と記され、第4条では「国は、主権を有し、独立して自ら決定する権限を有する」と主権在民を真っ向から否定しています。いま、憲法調査会の会長は、衆議院が枝野幸男(立憲)、参議院が長浜博行(立憲)なので自民党や参政党の改憲論議が一気に進むことはないでしょうが、維新、国民を含め改憲賛成が国会で多数を占める中、憲法についても目が離せない状況です。

教育の議席を守りました

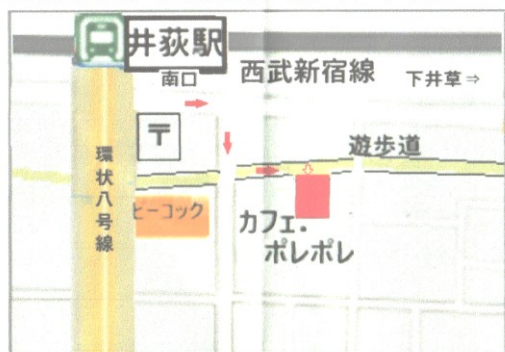
アジアの平和と未来をひらく 若者訪中国の話聞きませんか

8月に北京とハルビンを訪れた若者たちが、東アジアの平和と中国で感じたことを話す会を企画しました。若者が今、東アジアの平和について何を考えているか耳を傾けてみませんか？

と き：10月31日(金)19:00～

と ころ：カフェ・ポレポレ

杉並区下井草 5-19-19 遊歩道沿い
西武新宿線【井荻駅】南口下車徒歩3分



私たちが推薦した日政連の水岡俊一さん（比例代表）、勝部賢治さん（北海道選挙区）、小島智子さん（三重県選挙区）は、「教育の議席」を確保しました。私たちは、「教え子を再び戦場に送らない」のスローガンの下、平和な日本を形成する主権者としての国民教育の充実を求めるとともに、日本国憲法が求める社会の実現に向けてとりくんでいきます。

亡くなられた会員

谷 透さん。 内田みどりさん。佐々木貴世子さん
心より ご冥福をお祈りいたします。



難民映画祭

REFUGEE FILM FESTIVAL

—— 世界を想う。平和を問う。 ——

国連 UNHCR(国連難民高等弁務官)協会などが主催する「難民映画祭」が今年も開催されます。11月6日の劇場開催の他、オンラインにより無料で観ることもできます。日本初公開の6作品を含む9作が上映されます。

興味のある方は、QRコードで検索してください。



会費・カンパを振り込んでくださった方々 ありがとうございます

新井栄子さん。木内恵一さん。

4月から、あたらしく会員になられた方々。心より歓迎いたします。

菅原修さん、小野孝宏さん、佐野国彦さん、平林麻美さん、中野朱美さん、小林清美さん、山本静子さん、原竹茂雄さん、青木幹夫さん、永野貞子さん、伊藤光隆さん、佐久間妙子さん

編集後記

- ✧ 10月9日五者合同学習会が開催された。五者とは、日教組・退女教・日退教・教職員共済・教職員相互共済会。まさに現退一致の学習会。テーマは「安心して心豊かに暮らせる社会をめざして」。講演「大砲NO！バスターYES！社会保障を育て守るために」は、本誌冒頭の記事を見ていただきたい。もう一つは、日教組被爆二世の会の平野さんの報告。被爆二世を被爆者援護の対象にするとりくみは、核被害が世代を超えることを明らかにし核廃絶にもつながる運動だと思った。
- ✧ 10月10日日退教組織活動交流集会が開催された。都退教協の藤崎さん(日退教組織部長)から組織の拡大とジェンダー平等のとりくみが報告された。分散会では、能登地震災害の現状と原発再稼働、自衛隊基地増強に反対する全国のとりくみが報告された。都退教からは、2年にわたって奥能登を訪ね被災地と交流した江戸川のとりくみが報告された。
- ✧ 沖縄を再び戦場にさせない！！「沖縄と連帯する日退教第14次沖縄交流団」が12月1日～2日に開催されます。現地との交流や辺野古新基地での抗議行動を予定しています。沖縄現地集合で参加費1万円です。参加を希望される方は谷口までお知らせください。
- ✧ 急に冷え込んで体調を崩した方もおられるでしょう。ご自愛ください。春と秋が短くなり、四季ではなく二季に近づくという観測もあるようでイヤですね～ (谷口記)